

平成28年2月山梨県議会定例会閉会日の流会に関する
調査特別委員会会議録（平成28年6月8日）

平成28年2月山梨県議会定例会閉会日の流会に関する
調査特別委員会会議録

日時 平成28年6月8日（水） 開会時間 午前11時03分
閉会時間 午前11時44分

場所 第2委員会室

委員出席者 委員長 土橋 亨
副委員長 久保田松幸
委員 中村 正則 山田 一功 桜本 広樹 渡辺 英機
鈴木 幹夫 大柴 邦彦 永井 学 佐藤 茂樹

委員欠席者 な し

議題 平成28年2月山梨県議会定例会閉会日が流会した原因の調査に関する事。

会議の内容
土橋委員長

ただいまから、平成28年2月山梨県議会定例会閉会日の流会に関する調査特別委員会を開会いたします。初めに、調査の進め方について協議願いたいと思います。

委員長としましては、去る3月23日の状況を確認するため、書面による調査を実施し、その結果をもとに今後の調査を進めたいと考えております。

この際申し上げます。本件につきましては、個人が特定される情報もあることから秘密会により調査いたしたいと思っております。

お諮りいたします。本委員会を秘密会とすることに御異議ありませんか。

（「公開だよ」と呼ぶ者あり）

御異議がありますので、起立により採決いたします。

お諮りいたします。本委員会を秘密会とすることに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立なし）

起立がありませんので、本委員会を秘密会とすることは否決されました。公開により調査をすることに決しましたので調査を続けます。

直ちに、調査に入ります。まず、調査票の委員長案を事務局に配付いたさせます。

（議会事務局職員配付）

それでは、委員長案を説明いたします。まず、調査票の送付対象であります。お配りしたメンバーになっております。まず、議長 石井脩徳さん、副議長 河西敏郎さん、議会運営委員会委員長 皆川巖委員長、議会運営委員会副委員長 浅川力三さん、自由民主党代表 中村正則さん、議会事務局長、議会事務局次長、

議会事務局議事調査課長、議会事務局議事調査課総括課長補佐、いずれも流会時の役職名です。

続きまして、調査票の調査内容についてであります。

山田（一）委員　ちょっといいですか。これで決定ではなく、私は自由民主党の代表が入っていますので、議会運営委員会が招集されるとき各会派の代表も同じように入るべきではないかなと思っております。

土橋委員長　調査票の送付対象について、今の案で御意見のある委員がいましたが、他の委員はどうでしょうか。

大柴委員　今の案もいいと思いますが、ここにですね、議長、副議長、議運の委員長、副委員長、事務局等ありますが、議運のメンバーもいろいろな面で関わったと思いますので、議運のメンバー全員と、そしてやはり議員全員にも聞いてみるべきではないかと思います。質問内容は個別に違うようですけども、みんなで考えて、全員にも聞くべきではないかと思いますけど、いかがでしょうか。

土橋委員長　これに対するその他の意見はありませんか。

永井委員　これは流会時の役職ということで、今の議会事務局長や次長には聞かないということですか。今の議会事務局長と次長には、今の立場では質問は出さないということですか。

土橋委員長　あくまでも流会時の役職で考えています。

永井委員　わかりました。

土橋委員長　他に何かございますか。

渡辺（英）委員　大柴委員と同じ意見ですが、流会の原因は何であったか、これをただするのはたいへん大きなことだけれども、今後の山梨県議会の運営の中においても、二度とこのようなことは起こさないよう再発防止の徹底、やはり全員に聞いてですね、いちばんいい答えを出していきたいと思いますので、全員にこのアンケートをしていただきたいと思います。

土橋委員長　他に何か御意見はありませんか。

久保田委員　当時、ひな壇に座っていた事務局にも出したほうがいいのではないですか。課長、補佐等ひな壇に何人が座っていますよね。

土橋委員長　当時の議会事務局長、次長、議事調査課長、総括課長補佐には出す予定です。

久保田委員　それでいいんですか。

中村委員　名前を読み上げればいいじゃないですか。配られている資料は議会事務局長から始まって、役職名のみで名前が載っていないけど、全部、聞く人の名前を入れておいたほうがいいと思う。

平成28年2月山梨県議会定例会閉会日の流会に関する
調査特別委員会会議録（平成28年6月8日）

土橋委員長 お諮りします。今の話の中で委員長案である9人以外にも、各会派の代表にもという意見と全員に出したらどうか、大柴委員の中では、議運のメンバーとかいう話の中で、いちばん多いのは、全員に聞いたらどうかという意見がありますので、まずそこを皆さんにお諮りしたいと思います。

（「全員に出す」と呼ぶ者あり）

土橋委員長 お諮りします。今、全員に出すという意見が出ました。それについて反対意見はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

土橋委員長 反対なしと認め、今の9名以外の全員にも質問状を出すということによろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

土橋委員長 ありがとうございます。

鈴木委員 ちょっといいですか。それは当時の議運のメンバーも入るのですか。

土橋委員長 議員全員です。それでは2月議会流会時の議員全員に発送させていただきます。続きまして、調査票の調査内容であります。調査票は石井議長から始まって9名分ありますが、今、全員と決まったので、追加分も出てきますが、御一読してください。数分、暫時休憩させていただきます。

（休 憩）

土橋委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を始めます。調査票の内容は以上のとおりであります。これに対する御意見はありませんか。

山田（一）委員 もちろん流会に関する調査ですから、どの時点が始まりになるかということで、この内容だと5時前くらいが起点なんですけど、流会に至る以前の内容、議場が休憩に入るところから問題があったと私は思うので、そこの行動も入れておく方がいいと思います。

それから議会運営委員長は、その委員長としての対応なんですけど、私たちの認識では、議会の全ての開閉会については、議運の委員長が主要な役割を行っていると考えている中で、流会回避の内容ではなくて、議運を開かなかった理由も入ってこない、簡単に議長だって議運の委員長がやらなければ、開会とかはできないのではないかと思います。むしろ、5時58分とかに放送が入ったということとはともかくとして、それ以前に行った行動があるので、このままだと、その行動部分が全然出てなくて、そこそ一番のみんなの知りたい内容ではないかなと思うので、若干、内容が一方に偏っていると思います。

鈴木委員 今、言われることもわかりますが、議長に対して不信任をかけて可決されて、それから議場を出た行為というのは、全国的にはあるんですけど、良いか悪いか

はその議会の判断でありまして、不信任された議長のもとでできないのは当たり前前で、続けていたらおかしいことになる。ただ、全国の事例を見ると、神奈川県に私が行って来て聞きましたが、議長不信任というのは長い歴史の中であるが、その時は退席したときもあれば、休憩を取って議運を開いたりしたと聞いています。

それはそれとして、良いか悪いかでいうと、退席することは良くないかもしれませんが、退席せざるを得ない状況にあることは、その日のことを見ていただければ分かる通りでありまして、基本的には流会するもとの原因というのは、これに当たらない。流会をしてしまったが、退席した議員に対して、言い方はおかしいですけど、報復で流会をさせたのか、とすればそれはまた問題、その辺を一緒に考えると、なお、おかしい問題になると思いますから、言われたことはわかりますが、最終的に流会を議会事務局も議長も議運の委員長も阻止する役目があったことは事実です。ただ、議運の委員長に聞きますと、3回ほど議会事務局と議長に議運を開催するよう申し出たが、「今協議中」と繰り返して、これは議会事務局員がうちに言いましたから全部わかっているんです。突き詰めて私も聞きましたが、一切応じなかった。議運の副委員長も一切応じなかったと聞いております。開きたくても開けない状況であったことは、多分皆さんも御承知だと思いますが、その辺も加味して、やはり流会は流会、その行為を突き詰めるために特別委員会をしたいと思いますから、繰り返しになりますが、言っていることもわかりますが不信任になった議長が続行することは法律的にはできるとのことですが、そのときの対処法としては退席しかなかった。休憩してから、本来ならば全員協議会を開くなり、議運を開くなり議長に協議することをさせてくれなかったことが現状である。そこを良く考えていただきたいと思います。

土橋委員長　今回の調査票の調査内容の説明をして、読んでもらったわけですけど、議運の委員長のものを見ると、「午後3時32分に暫時休憩に入りましたが、会議の再開に向けてどのような行動をとったか」とありますので、ここでしっかりとした回答をもらいたいと思います。その次に「休憩中会議の再開に向けて何も行動しなかった場合は、その理由も書いてください。」というのが入っていますから、何も入っていないのではなくて、ここでしっかりした回答をいただければ、回答を全ての議員からもらった後で、これを一覧にして、17日にある特別委員会で公表して、その中で、山田委員が言ったように、これはおかしいというような討論をしていきたいと思います。今回はこういう調査票を送りますがどうでしょうかという内容の会議です。

山田（一）委員　鈴木委員から説明があったんですが、私たちが聞いている範囲ですと、執行部側が各会派をまわって、具体的な人の名前は今は言いませんが、責任ある立場の執行部の人各会派をまわったときに、議長が居座り続けるなら議場に戻らないと言ったということを耳にしております。そういう部分をオブラートに包んだまま、この調査票を検討しても、やや違った答えが出るということを私は危惧したので、それをどういう盛り込み方にしていくのか分かりませんが、いずれそういうところまで出てこないとならないので、これはあくまで流会の部分の点の時点ですよ。4時57分、58分のことだけだということであればともかくですけども、流会に至る経過の中だと、ほんの一瞬を切り取っただけにしかならないので、その前段階の2時間くらいの中で、ずっとあったと思うので、それがいずれ表に出てこないことには、先の話ですけど、正しい判断が委員会としてできないので、それは入れていく必要があると思います。

鈴木委員 今言われたのは推測ですよ。誰が言ったの。

山田（一）委員 今、この時点では話せません。

鈴木委員 これが開かれれば、議長が再開すれば、必ず出なければならない。議会のルールで。それさえがなかったんですよ。議長が再開することが議会を進める方法なんです。それさえもすればよかったけどしていない。私たちは再開されれば出なければならない。出ないほうが悪い。そこを良く考えてもらって、さっき委員長が言ったように、17日に回答が来て言いたいことはそれぞれあると思う。それは17日にしてもらって、とりあえず今の調査票は出すべきだと思う。

桜本委員 調査特別ということで、議長に責任があったとか、副議長に責任があったという議論ではなくて、その流会になった議会を時系列で、公式的に何時何分にこういう行動をとった、そして会派に対しては公式的にこういういきさつがあったというもの、時系列でまとめていただかないと、そのときの行動が正しかったのかどうかということ、時間軸と公式的な行動の中でですね、指し示していただいた中で、では、この動きで間違いないと確定した中で初めてそれぞれの立場の方々に対する調査項目というのが決まってくると思われませんが、この段階ではこの調査票の内容では、ちょっと正確性に欠くように思いますがいかがでしょうか。

土橋委員長 どうでしょうか。

渡辺（英）委員 桜本委員もいろいろあるということもわかります。流会になった現実はあるわけで、その責任者は基本的には議長しかいない、そのことに対して議員全員からも個々の考え方を伺いたいという調査票が行くわけですよ。その中に個人の意見をそこで述べていただいて、それをまた議論すれば、山田委員、桜本委員の言ったことも出てくると思いますよ。だから調査票を配って回収するということが大事なかなと思います。

桜本委員 それではですね先ほど言った全議員に配る調査票の内容はどんな内容にするんですか。

土橋委員長 委員長案でいいですか。

（「案があれば出して」と呼ぶ者あり）

鈴木委員 見てもらって使えることがあれば、書いてもらえるようにすればいい。そこで聞けばいい。案があるのかな。

土橋委員長 暫時休憩します。

（休憩 議会事務局職員委員長案配付）

土橋委員長 休憩前に引き続き会議を始めます。今、お配りした案でどうでしょうか。

平成28年2月山梨県議会定例会閉会日の流会に関する
調査特別委員会会議録（平成28年6月8日）

桜本委員 各議員に配るということであれば、議長から流会に関する相談があるわけではないし、これは会派でそういう話をしたかとか、議会事務局の局長から流会に関する相談があったかではなくて、会派内の中であったかと思いますが、この文言では当てはまらないのではないですか。

土橋委員長 2番のことですね。2番はカットします。

鈴木委員 皆さんの意見で決めましょう。あったか、なかったかなので、代表はこれでいいと思います。

山田（一）委員 文言はこれでいいというか、精査すればいいのですが、桜本委員が言った時系列のものは、特別委員会としては作っておくことが必要で、絶対調べて認識する必要があると思う。それを委員会で作るということを決めていただけますか。その上で、ポイントになる時間の調査票を出すということであれば・・・。

鈴木委員 これはこれで出すんですよ。

山田（一）委員 出すけど、この委員会として時系列は作りましょうよ。出すことについてはこの文言で一部直せばいい。調査票のことは細かいことは言いませんが、大事なことは、この委員会として時系列を明らかにしてもらいたいということです。

鈴木委員 それはこの前見せてもらって、議会事務局で作成したものがあるから。それは共産党でもらったものと時間がちょっと違うんですよ。また、すり合わせて、その1分、2分が重要なことだから。それを出していただきたいと思います。

土橋委員長 はい、わかりました。山田委員の時系列で出せという話、鈴木委員の、後で議会事務局で準備してもらって出すという話、ものはあるということですから、今回の調査票を発送するのに、その必要があるのか。

山田（一）委員 それは外に出さなくていいと思います。

土橋委員長 先ほども言いましたけれども、今回は調査票の内容について協議するという事なので、お諮りします、この項目でよろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

土橋委員長 全員に出すということで、後から配った調査票もこれでよろしいでしょうか。2番の議長から相談がありましたかというのもそのままにして、もしかしたら相談があった人がいるかもしれないので、行きたいと思います。

山田（一）委員 済みません。2番に流会の相談なんてあるけれども、最初から流会ありきだから、開会について相談にしていただけませんか。だって、最初から流会をする相談なんて、議長にするわけないですから。

（「わからないよ」と呼ぶ者あり）

山田（一）委員 開会について、あるいは、再開について相談があったかというのがポイント

平成28年2月山梨県議会定例会閉会日の流会に関する
調査特別委員会会議録（平成28年6月8日）

ではないですか。

大柴委員　　今回は流会に関する調査ですからね。流会という言葉で全然問題ないと思いますよ。

鈴木委員　　はっきり言って、流会させただよ。自然流会ではない。

山田（一）委員　　今話を聞いて、私はもうちょっと各議員の責任も含めて、調査するのだけれど、今の結論は最初から議長が、開会の権限は議長にあると言って、責任をそっちに持っていくための調査ではないですよ。少なくともこの段階では、流会しようとしたと私たちは思っていないし、再開についての相談にしてください。

鈴木委員　　どっちでもいい。それはわかるけど、それは委員長にお任せします。ただ、流会は2とおりしかなくて、1つは多数会派が5時までに出ていないから、もう1つは議長が再開しないから、そのどっちかなんです。

山田（一）委員　　3番目、4番目を譲ったとしても、2番目は議長から流会について相談ではなく、再開について相談があったかですよ。結果として流会になったから、流会を回避する必要で次の質問がいいんですよ。少なくとも2番目の質問は再開について相談があったかでないとおかしいでしょ。

土橋委員長　　同じことだけだね。

山田（一）委員　　いやいや最初からじゃないんだから、結果として流会になった原因はということだから、大きな違いですよ。

中村委員　　あのね、さっきから聞いていたけど、ここは山田委員の言うように、流会ではなくて再開について相談がいい。ここはそんなに差支えがない。

土橋委員長　　委員の皆さんに申し上げます。これは委員長案ですので、私も流会について相談ではなく、再開について相談があったかということに書き換えたいと思います。よろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

土橋委員長　　これで調査票の調査内容については、以上であります。皆さんの意見を踏まえて流会について相談ではなく、再開について相談があったかということに書き換えて発送したいと思います。それでは、いろいろな意見が出ましたけど委員長案について採決により決したいと思います。委員長案に賛成の委員の起立を求めます。

（賛成者起立）

土橋委員長　　起立多数であります。よって、委員長案のとおり調査を進めるものと決定されました。

桜本委員　　先ほどの時系列の動きというのは、大体いつごろを目安に出していただけます

平成28年2月山梨県議会定例会閉会日の流会に関する
調査特別委員会会議録（平成28年6月8日）

か。

土橋委員長 この調査票の回答をもらって、次の17日の委員会のときにしたいと思います。

山田（一）委員 お願いなのですが、次の委員会は17日で承認しましたが、そのあと委員会が開かれる可能性も当然あるので、選挙後にお願いをしたいのですが。それぞれお立場があるので。

土橋委員長 17日にその後の日を決めるということで、お願いします。それでは、委員長案のとおり調査を進めることとし、調査票の字句等の修正については委員長に委任願いたいと思います。本日配付した調査票については、回収をさせていただきます。調査票は今日発送して、1週間後の15日に締め切りとさせていただきます。以上で、本日の予定は、終了いたしました。来る6月17日、午前11時、当委員会室において委員会を開催いたします。本日は、これをもって閉会といたします。

以 上

平成28年2月山梨県議会定例会閉会日の
流会に関する調査特別委員会
委員長 土橋 亨